

高安山はやおの里山 みんなの恋人

い〜わ

河内の風

SEPTEMBER 2008

No.39

環境アニメイティッドやお 広報委員会 発行

CONTENTS

先月の写真

1

いきいき八尾環境フェスティバル
紹介①

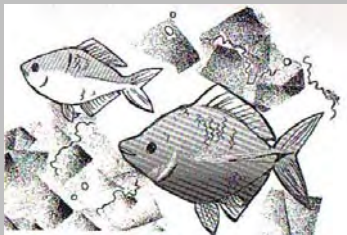
e-column(イーコラム) 2

「ニッポンバラタナゴ保護活動」
産経新聞に報道される

3

環境アニメイティッドやお情報

4



エコ豆知識

ちょっと耳寄りな
～ 学校のエコ ～

八尾市内の学校の中には、給食の生ごみでたい肥作りをしている学校があります。

自分の学校だけでは、消費しきれないので、よそ様に差し上げたりしています。



多くの参加者(74名)がありました

ビオトープ&食育体験開催



7月26日(土)に八尾北高等学校にて、第3回学校ビオトープづくり&食育体験イベントを開催しました。

天候に恵まれ、屋外の第2グラウンドでは菜種油しぼり実演、ビオトープ(池や菜園の)観察を行いました。

屋内では「NPO 法人自然環境会議八尾」さんによる地球温暖化や菜の花プロジェクトでの資源循環の取り組みについてお話を聞きました。

昼食では八尾で穫れた枝豆を使ったちらし寿司・枝豆てんぷら・枝豆入り寒天寄せと、じゃがいもの揚げ団子を「八尾の食文化を考える会」さんに調理していただきました。

さらに美園小学校(エコロジー美園小)のみなさんが今回初めて参加いただいたこともあり、新しいネットワークと出会いをつくることができました。

八尾市制施行60周年記念事業

いきいき八尾環境フェスティバル2008のご紹介 ①

〜甞れ ひと まち みどり かぜ 飛躍〜

今回の環境フェスティバルは2日間に渡って開催し、さらに環境省「生物多様性保全推進支援事業」に採択された取り組みの一つとして開催いたします。

今回のご紹介では、初日の10月25日(土)プリズムホール大ホールでの開催内容をご紹介します。



※写真出典:インターネット「アース」
(<http://www.loveearth.com/jp/film>)

10月25日(土)プリズムホール大ホール

11:00 開場

11:00~12:10 体験コーナーの開催

クラフト作りを行います。
どんぐりを使った「らせんゴマ」など楽しい遊びを行います。

12:10~13:55 映画「アース」上映

生き物たちの壮観に出会う、ドキュメンタリー史上最大の映像プロジェクト。
製作5年、撮影日数のべ2000日、撮影全世界200箇所以上。

14:00~14:20 開会セレモニー

14:20~15:10 学校の環境配慮の取り組み表彰・発表

環境配慮の取り組みの表彰(16学校園)を行ったあと、表彰学校園の中から、取り組みについて発表をしていただきます。

15:20~16:10 朗読劇「キンタイくんのぼうけん」・子ども達のための音楽合唱

●朗読劇

八尾児童合唱団による「ニッポンバラタナゴ」の朗読劇。
八尾の高安山にすむニッポンバラタナゴが生息できる環境・生き物たちとの関係を朗読劇で楽しく知りましょう。
また朗読劇では八尾児童合唱団によるキンタイくんをテーマにしたコーラスもお聞きのがしなく。

●音楽合唱

子ども達のための音楽合唱を八尾児童合唱団が届けたいします。

※「キンタイ」とは八尾市高安地域で呼ばれたニッポンバラタナゴの地域名。ニッポンバラタナゴは中国から来た「タイリクバラタナゴ」との交配や林業や農業を取り巻く里山の環境変化、外来種による捕食で生息数が激減。
現在、本州では八尾市高安地域のみ生息する絶滅危惧種。また四国の香川県と北九州でも生息している。体長は4cmでコイ科淡水魚

e-column

5

ヒートアイランドと農業用水の活用

アクアフレンズ 美濃原 弥恵さん

長瀬川や玉串川のように町中を流れる農業用水路は、川と名がついているだけに本来の目的を知る人は少ないことでしょう。2つの用水路には合わせて40の樋門があり、小水路が手を伸ばすように田畑に向かって伸びています。

『農空間で大阪を冷やそう』をキャッチフレーズとした長瀬川での打ち水が、今年も8月初めに実施

されました。近年、ヒートアイランドによる猛暑への対策が『打ち水』という昔ながらの生活の知恵を生かす形で注目されています。

身近な用水路が、農地だけでなく私達の暮らしにも潤いを与えてくれる貴重な環境用水として見直されています。

(次回は恩智川環境ネットワークの高山晴行さんです)



ニッポンバラタナゴ保護活動が

「産経新聞」に報道される！

ニッポンバラタナゴ保護活動が、さる7月27日付の「産経新聞」で報道されました。ほぼ一面に渡る環境特集記事ですが、当広報紙の紙面の関係から概要記事、写真、大見出し、小見出しを転載します。写真では、生態系の循環や山林保全と保護池保全の関係が分かりやすく図示されています。

17 環境 平成20年(2008年)7月27日 日曜日

かつて、ため池などで当たり前のように見られた淡水魚「ニッポンバラタナゴ」が絶滅の危機にひんしている。昭和40年代以降、林業や農業を取り巻く里山の環境が大きく変わり、生息地が大幅に減る中、大阪府八尾市のNPO法人が平成10年から里山を再生し、保護池を整備するなどニッポンバラタナゴを守る活動を展開している。生態系の維持のため山林の間伐や保護池の拡大など、取り組むべき課題は広範囲に及ぶ。一方でニッポンバラタナゴの個体数は増加しつつあり、活動の効果もあらわれ始めている。(藤田康三)

効果絶大「先人の知恵」

ニッポンバラタナゴが産む卵

高山山

ヒノキ林の間伐
土壌の森林を平入にしな
げられたる河川の養育に
よる水が流れの早さ

ため池の整備も、土壌の森林を平入にしな
げられたる河川の養育に
よる水が流れの早さ

ニッポンバラタナゴ(体長約3.5〜4cm)の
メスは産卵管を伸ばしてドブ貝(体長約1.5
〜1.8cm)の出水孔に卵を産む。その後オスが
産卵し、卵は水流の中で7mmほどの産
卵管と泳ぎ出る

産卵管
ドブ貝

アメリカザリガニ
ドブ貝の頭部、ドブ貝が産
むと、ニッポンバラタナゴ
も産む卵の数が増える

イの稚
魚が急
増。比例して
産卵数も増加し、

この池を守るため、里山の森林で間伐作業をシ
ンバーが
大阪府八尾市の高山山

ニッポンバラタナゴのため池の保護活動を行う
「ニッポンバラタナゴ高
山研究会」代表理事の加
納さん(大阪府八尾市)

産卵管のまわりで縄張り
行動をするニッポンバラ
タナゴの雌(加納さん提供)

ニッポンバラタナゴ 日本固有魚
種で、体長約4cmのゴイロの淡水
魚。ドブ貝などの産卵管の出水孔に産卵す
るのが特徴で、産卵管のビークは5〜6
月。生息地は大阪府八尾市のほか、香川県
のため池や北部九州の一部の用水路など極
めて局所的で、環境省のレッドデータブ
ックでは絶滅危惧1人類に指定されている。
外来種のブラックバスやブルーギルによる
捕食も絶滅の一大とされる。

環境アニメイティッドやお 情報

八尾市の環境を守るために、環境アニメイティッドやおが取り組んでいるさまざまな活動（高安山の保全など）や今後の計画などを紹介しています。

九月

活動日カレンダー



月	火	水	木	金	土	日
1日 省エネの日	2日	3日	4日	5日	6日	7日 ☆高安山自然再生定期活動
8日	9日 ◎ いきいき八尾環境フェスティバル 企画調整会議	10日	11日	12日 十五夜	13日	14日 コスモスの日
15日 敬老の日	16日 ◎ 運営会議 国際オゾン層保護デー	17日	18日 ◎ いきいき八尾環境フェスティバル 全体説明会	19日	20日 ○歴史楽校 彼岸入り	21日
22日 □「情報プラザやお」	23日 秋分の日	24日	25日	26日	27日 ○自然楽校	28日
29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日

☆…野外活動 ◎…会議 ○…講座 □…FM放送

活動の詳細

☆以下の活動は市民のみなさんがどなたでもご参加いただけます。

<高安山自然再生定期活動>

9月7日（日）午前10時 近鉄信貴山口駅改札前集合
内容：高安山山頂での整備

<高安山ふるさと歴史楽校>

9月20日（土）午前9時半 近鉄恩智駅改札前集合
内容：山麓の河内西国札所をめぐる～
案内は田村直行さん

<高安の森 自然楽校>

9月27日（土）午前10時 近鉄服部川駅前公園集合
内容：森林の生態、森と木の話、ネイチャークラフト1

FMちゃおでの放送
(79.2MHz)

番組名 「情報プラザやお」
9月22日（月）
正午～午後12時45分
午後7時～午後7時45分
(再放送)